（様式２）

活 動 計 画 書

|  |
| --- |
| 団体名 |

|  |
| --- |
| １　活動名称 |
|  |
| （注）助成申請書（様式１）に記載の活動名称と同じ活動名称を記載してください。 |
| ２　活動の実施期間 |
|  |
| （注）令和２年（2020年）４月１日から令和３年（2021年）３月31日までの期間内で記載ください。 |
| ３　活動の実施場所 |
|  |
| （注）具体的な場所がわかるよう記載ください（長野県内所在地のみ）。 |
| ４　活動の種別（当てはまるものすべてに印をしてください。） |
| □行政又は公的な団体その他の主体が十分対応できていない地域課題又は生活課題の  解決の解決を図ることを目的とした活動  □社会的な課題の解決又は社会変革を目的とした活動  □継続的かつ効果的な課題解決の手段が確立していない分野において、実施手段などが  モデルとして活用可能な先駆的活動  □自団体の活動資金獲得の仕組みづくり又はサービス開発を目的とした活動 |
| （注）既存活動に新型コロナウイルス対策を講じる場合は、その既存活動の種別について記載してください。 |
| ５　※コロナ禍で生じている新たなニーズ  ※②コロナ禍での新たなニーズに対応するための活動に必要とする経費助成（50万円助成コース） 又は ③両コースを併願 を選択した場合のみ記載 |
|  |
| （注）未記入の場合は、様式１の記載内容にかかわらず、①新型コロナウイルス感染症対策に要する活動助成（20万円助成コース）への申請とみなします。 |

|  |
| --- |
| ６　活動の内容（５の目的達成に向けて必要なプロセスがわかるよう記載してください。） |
| 1. 活動の内容（ターゲットが明確にわかるよう記載してください。） 2. 活動において実施する新型コロナウイルス感染症対策 |
| （注）新型コロナウイルス感染症対策の方法を踏まえて、活動内容を具体的に記入してください。既存活動の場合は、その活動内容と、そこでどのような新型コロナウイルス感染症対策を講じるのか等、当該助成金で実施したい内容がわかるよう記載してください。 |
| ７　活動の目的（解決したい課題とそれが実現した先で目指すビジョンを記載してください。） |
| 1. 活動により解決したい課題 2. 活動により直接達成したい成果（アウトプット） 3. 活動を実施した先で目指す地域社会への影響（アウトカム） |
| （注）既存活動に新型コロナウイルス対策を講じる場合は、その既存活動の目的について記載するとともに、コロナ禍で特別な対策が必要となった理由等を記載してください。 |
| ８　活動スケジュール（準備から活動実施日まで一連の流れがわかるよう記載してください。） |
| 1. 準備 2. 活動実施日 |

※選考では、主に「活動の公益性」、「必要性」、「実現可能性」、「団体等の適格性」の４つの視点から評価をさせていただきますので、それを踏まえた記載内容としてください。